

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 7 年 2 月（着任 1 年 8 カ月目）
主な活動	1 事業化に向けた取り組み 2 地域活性化の取り組みに関する集会への参加

1. 事業化に向けた取り組み

指宿枕崎線を活用した地域おこしに取り組んでおり、駅周辺の建物を活かして地域を活性化している地域の視察を行いました。

霧島市横川町の取り組みを NPO 法人 穎娃おこそ会のメンバーとともに視察しました。

大隅横川駅保存活用実行委員会の方からは、鹿児島県内で最も古い駅である大隅横川駅でのイベント開催や活用方法について、活用状況や地域の方々との関わり方、日々の活動についてお話を聞きました。

また、周辺にある施設を再利用して活用している方からは、改修して活用している施設（池田屋住宅）の紹介とともに、移住した人たちが活動できる場所を作る取り組みの紹介や今後の活動展開をお話していただくとともに意見交換を行いました。

滞在する拠点を作りたい、とする思いに賛同して集まった他の方々の取り組みに共感を覚えるとともに、西穎娃駅を一つの点にしたい、という思いが強くなりました。

滞在場所は一つの点かもしれませんが、その点が集まると線になって、線同士が繋がっていくことを実感した視察となりました。



【大隅横川駅での視察】



【改修して営業している池田屋住宅】

2. 地域活性化の取り組みに関する集会への参加

他の場所では、地域を活性化するためにどのような取り組みを行っているか学ぶため、集会に参加しました。

東京で開催された「地域おこし協力隊全国サミット」に参加しました。全国からの自治体に参加して、それぞれの地域でどのようなことを行っているのか、特色を出したブース出展を行っていました。地域を支える担い手がいなくなるという課題は同じですが、それぞれの地域で抱える課題は異なること、例えば伝統工芸が廃れてしまうことや、耕作放棄地の増加による土地の荒廃などを挙げている自治体が多くありました。

課題解決への取り組み方法を直接聞ける良い機会となりました。

熊本県人吉市で開催された「肥薩線全線復旧祈願山線がつながる集会」に参加しました。災害による被害を受けて復旧工事をしている肥薩線ですが、吉松～人吉間が復旧工事のメドがついておらず、今後どのような展開になるか、先人たちが残したものを次の世代に残していくために自分たちは何ができるかを話し合いました。

復旧を信じて取り組むことで、何らかの展開になること、動き続けることの大切さを実感する集会となりました。

福岡市で開催された「九州観光まちづくり AWARD シンポジウム」に参加しました。前回の AWARD で NPO 法人 颯娃おこそ会が受賞したことが縁となったものです。過去や今回の受賞団体の取り組みを学びましたが、本来価値に戻す取り組みをしている、という言葉が刺さりました。

地域が持つ価値を自分たちで下げているか、という思いから取り組み始めて、どのように価値を上げてきたかという思いが詰まった発表に心打たれ、固有種の野菜を守るために活動を行っている発表に地域の可能性を感じました。



【全国サミット】



【山線がつながる集会】



【九州観光まちづくり AWARD】